

子育てをもっと楽しく！ママのための日本語サロン 活動報告① 「子どもの遊び場 ～子どもは遊んで育つ！～」

日時：平成 27 年 10 月 19 日（月）10:00～12:00

場所：刈谷市中央子育て支援センター

日本語講師：岡部真理子氏

参加者数：【学習者】8名（中国5名、フィリピン1名、インドネシア2名）

【日本語パートナー】6名

【通訳】1名（タガログ語）

託児スタッフ：2名（ママハウス）

<活動内容>

1. 自己紹介

- ▶ 日本語パートナーとともに、自己紹介シートに名前・出身・住所・趣味を記入した後、席を立ち、できるだけたくさんの人と自己紹介

2. オリエンテーション

- ▶ 教室の趣旨、コースの日にちとテーマを説明

3. 子どもについて

- ▶ 子どもの①よいところ②困っていること③知りたいことを、ピンク・黄色・青の付箋紙に書く
- ▶ 項目ごとにグループで共有
- ▶ 「知りたいこと」を全体で共有
 - ・日本料理を子どもに作って食べさせたいから中国語のレシピ本を借りたい
 - ・子どものほめ方・叱り方
 - ・家の中での危険防止方法 等

4. 行ってみたい場所について

- ▶ 刈谷市の地図を参考にしながら行ってみたい場所をグループで話し合う

「碧南水族館」「鞍ヶ池公園」「岡崎東公園」「モリコロパーク」「名古屋港水族館」「東山動物園」「愛知県図書館」等

5. ふりかえりシート、覚えたい言葉シート、ポートフォリオ

- ▶ 日本語パートナーとともに本日の活動をふりかえり、それぞれのシート（資料1～3参照）に記入



<参加者の感想>

【学習者】

- ・赤ちゃんはみんな同じです。
- ・ちょっとした日本語の違いの説明が難しかった。例えば、「〇〇がいる」「〇〇がある」など。
- ・新しいお友達に出会えました。
- ・日本語をたくさん話すことができました。子育ての問題についても話し合うことができました。

【日本語パートナー】

- ・学習者のお子さんの年齢が上だったので、いろいろと教わるが多かった。
- ・とても楽しかった。でも、日本語をどのように調整していったらよいか、難しくもあった。自分も英語を習っているので、フィリピンの人に言葉を教えてもらいたい。
- ・学習者がどの程度日本語が話せるか最初はわからなかったなので、様子を見る必要があり、なかなか声をかけづらかった。
- ・遊び場を知ることができた。自分は行ったことがない場所へ中国の方達は行ったことがあるらしく良く知っていた。

